

## 誓いの言葉

本日はお忙しい中、20歳を迎えた私たちの門出に際し、このような素晴らしい式典を催していただき、誠にありがとうございます。

先程、お祝いや激励のお言葉を頂きました教育委員の大久保様はじめ、ご臨席賜りましたご来賓の皆様方に、新成人を代表して心より御礼申し上げます。

ついこの間まで子供であった私たちは、それぞれ成長し、就職や進学と違う人生を歩んでおります。私は、高校を卒業してすぐに就職し、社会人として新たな道を歩み始めました。リゾートホテルのフロントスタッフとして、人々の幸せや喜びを届けるお手伝いをしております。お客様の笑顔を見ることこそ、私が仕事をする上でやり甲斐を感じる一番の瞬間です。

入社してすぐの頃、仕事を覚えることに必死で辛かった時に、チェックアウトにいらっしやっただお客様から「大変だと思うけど、頑張ってるね。」と笑顔で励まされ、辛いと思えなかった仕事が楽しめるようになりました。この時から、笑顔は人々に大きな力を与えると感じています。

これからの人生の中で、悲しいことや辛いこと、苦しいことも多々あると思います。そしてそれを乗り越えなくてはならない時も必ず訪れます。辛くても悲しくても、ひとりぼっちだと思わないでください。傍にいないとも人は心で通じ合えます。弱音を吐きたいときは、溜まったものが空になるぐらい思い切り吐き出してください。面白いなと感じたことがあれば、どんな些細なことでも、声を出して笑ってみてください。感情という名の種を、笑顔という花に変えていくことができれば、悩みもどこかへ吹き飛ばすと思います。

私たちは20歳を迎えましたが、人生はまだまだ長く続きます。笑顔を忘れずに、それぞれの目標や夢に向かって歩んでいきたいと思えます。

最後になりますが、これまで温かく育ててくれた家族や、寄り添ってくださった皆様方に心から感謝を申し上げますと共に、これからの未来を笑顔で過ごしていくことを決意とし、誓いのことばとさせていただきます。

令和7年1月12日  
上田創造館会場  
(第四・第六中学校区域)  
成人代表 増澤優斗